

科目名		学年	
英語表現: English Expression		1PDK	
教員名		後川知美: USHIROKAWA Tomomi	
単位	授業時間	科目区分	授業形態
2	100分×15	必修	演習・後期
授業概要	日本語のレポートでは細かい事情を説明して最後に結論を述べるのが一般的であるが、英語のエッセイでは結論を最初に述べることで、読み手に書き手の立場が明確に伝わるという特徴がある。こうした論理の運び方の違いを十分に理解したうえで、身近な話題について4つのエッセイパターンを用いながら書く練習を重ねる。		
到達目標		評価方法	配分
(1) 日本語のレポートと英語のエッセイにおける書き方や考え方の違いを理解できる		定期試験の結果	70%
(2) トピックセンテンスを盛り込んだパラグラフが書ける		レポート課題の結果	15%
(3) 英文エッセイの内容を口頭で表現できる		口頭試問の結果	15%
学習・教育目標		(G/2)	JABEE基準1(1)
			(f)
授業計画	回	項目	内容
	第1	導入	授業の概要や評価方法、学習の進め方等の概要説明
	第2	Lesson 1	Conclusions—英文エッセイを書く際の基本の型
	第3	Lesson 2	Analysis—「何かが人気だ」といった問題の理由を説明するためのグループ化
	第4	Lesson 3	Theory—理論を提示し、科学的な実験を行ってその理論を証明する文章の組み立て方
	第5	Lesson 4	Controversy—自分の立場を明確にし、その立場を支える理由を述べる、あるいは意見の紹介をする
	第6	Lesson 5	Comparison—比較対照するものの提示の仕方
	第7	Lesson 6	Classification—何かの基準を設定し、それによってある集団を分類する書き方
	第8	Lesson 7	Instructions—マニュアルやプレゼンテーションなどで利用される、要領よく指示を出すための方法
	第9	Lesson 8	Chronological Order (History)—自分の歴史や履歴書の書き方
	第10	Lesson 9	Cause and Effect—現在の事象がなぜ起こったのかについての原因を探る
	第11	Lesson 10	Process—サービスの流れや生産工程、物事の手順などを手際よく説明する書き方
	第12	Lesson 11	Explanation (New Product)—自分の会社の製品やサービスを効果的に紹介する
	第13	Lesson 12	Definition—外国人に日本の現在の状況を説明するための書き方
	第14	Lesson 13	Explanation (Statistics)—社会現象や科学現象、市場調査やアンケートの集計結果の説明
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。	
自学自習の内容		授業で出された課題	
関連科目		本科における英語表現	
教科書		Skills for Better Writing (南雲堂)	
参考書			
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う	
副担当教員			
備考		辞書必携。予習して授業にのぞむこと。	